

北陸支部講演会

「不便を活用するシステムデザイン」

主催：計測自動制御学会北陸支部

従来のモノづくりにおける，システム側単独で高機能化や知能化を目指すというアプローチは，ときにはユーザに対する便利の押しつけとなり，必ずしも人間-機械系に益するとは限らないことが知られてきています．これに対して，便利の押しつけによって失われたものを整理して，新たなシステムデザインの糧とするアプローチが提唱されています．当支部では，不便システム研究所，京都大学大学院情報学研究科の 川上 浩司 先生をお迎えし，不便を積極的に捉え，その益を活用するようなシステムデザインについての講演会を開催致します．

日時：平成 22 年 11 月 5 日（金） 14:40～16:10

会場：富山県立大学 L205 会議室（合同棟 2F）

講演者：京都大学大学院 情報学研究科 システム科学専攻 准教授 川上 浩司 氏

題目：不便を活用するシステムデザイン

概要： 不便なモノやコトを積極的に評価することは，近年では新たなライフスタイルの一つとなりつつある．一方でエンジニアの分野では，前世紀に便利の押し付けで失われた事象があることに気付きながらも，その流れから脱却できていない．単なる懐古主義という一言で一蹴するのではなく，また逆に「昔の暮らしに戻れ」と主張する市民運動に留まるのでもなく，便利の押し付けで何が失われたかを整理して新たなシステムデザインの糧とする試みを紹介する．

定員：50 名

参加費：無料

事前申し込み：不要

お問合せ先：富山県立大学工学部 本吉達郎

TEL 0766 (56) 7500／FAX 0766 (56) 8030

E-mail motoyosh@pu-toyama.ac.jp